

第70回調査研究委員会報告書

1. 日 時 令和5年7月10日(月) 13:00~16:00

2. 場 所 各事業所(リモート)

3. 出席者	調査研究委員長		泰 楽 秀 一
	調査研究委員	北海道地区	道 端 忠 志
	同	東北地区	須 賀 律 人
	同	北陸信越地区	島 田 涉 (欠席)
	同	関東地区	吉 岡 一 三
	同	中部地区	大 原 孝 司
	同	関西地区	松 本 礼 士 郎
	同	中国地区	定 光 純 一
	同	四国地区	竹 本 健 治
	同	九州地区	柴 田 宗 宏
	担当副会長		芝 幸 宏
	会 長		小 倉 龍 一

4. 挨拶

定光副委員長より開会宣言があった後、小倉会長、芝副会長より挨拶が行われた。

5. 議 題

議題1 自己紹介

各委員より、自己紹介を行った。

議題2 副委員長の選出

泰楽委員長より、定光委員、大原委員、須賀委員が副会長に指名され、異議なく了承された。

議題3 調査研究委員会 令和5年度事業計画について

○第69回調査研究委員会の振り返り

委員会報告書参照

○令和5年度事業計画について

泰楽委員長より、令和5年度の調査研究委員会事業計画の説明がなされた。

レバーレートチーム

- ①「レバーレート診断レポート」の浸透及び啓蒙
- ②連協・単組向けレバーレート算出のサポート事業（個別も検討）
- ③団体交渉に向けたスキーム構築（法関係対策及びビジョンPJTと連携）

廃棄物チーム

- ①SDGsの認定取得
- ②廃棄物費用負担への告知活動（ポスター作成等）
（法関係対策及びビジョンPJTと連携）

材料代チーム

- ①钣金材料代及び塗料・副資材の実態検証及びデータ配信
- ②塗料メーカー及び塗料販売店との定期的な協議
（廃棄物チーム及びビジョンPJTと連携）

【委員より質問・意見】

・金融庁実態調査アンケートの件で波紋を呼んでいると聞いた。どういった反響が来ているのか？

→金融庁が主体的に今回の実態調査に乗り出し、自動車整備業界に目を向けていることに對し、前向きにとらえる意見が大半。ただ、単価だけで料金が決まっているわけではなく、違和感のある問いもあった。そこについては、金融庁が主体的に作成されたアンケートであることから、あまり日車協連から修正等を加えないようにしたことを説明した。

- ・金融庁実態調査については、情報共有がなされずもどかしい気持ちはあった。
- ・各地区への依頼事項の流れなど、委員会で話し合っ共有しておくべき。金融庁実態調査や団体交渉についてはチーム単位よりも委員会全体で取り組んだ方がいい。
- ・料金問題をはじめ、日車協連を中心に業界が動き出している。日車協連として意思統一や意見の落とし込みをしていく必要がある。
- ・（小倉会長より）保険会社との団体交渉については、法関係対策委員会で話し合っているが、着地点やどのように交渉していくのかまだ見えていない。調査研究委員会においては、弁護士や法関係対策委員が交渉で持ち帰ったことを調査研究委員会や各連絡協議会で話し合っ、意見を吸い上げてきていただきたい。
- ・金融庁アンケートを急遽実施したので、レートチームが行おうとしていたアンケートはお蔵入りになってしまった。内容を見直し、タイミングを見て実施してほしい。
- ・まずは令和4年度の各チームの成果を文書化するところを終わらせてから、次の段階へ移っけていけたらいい。

- ・材料代チーム報告（大原委員・道端委員・竹本委員）

岐阜県で材料代検証講習を開催した。会費が余ったので、協力していただいた塗料メーカーから講習で使用したサンプルを買い取った。材料代計算シートを用いた計算方法、また、参加者にアンケートを実施し考察も配布して講習を補足した。

各地区でも講習を開催するよう依頼された。その際使用するデータや記入表は大原委員からもらえる。個社、単組、全国に広めていき、誰でもデータを取れるよう仕組みを作っていく。

- ・廃棄物チーム報告（定光委員、吉岡委員、島田委員）

「取り外し部品の処理に費用負担のご理解を」ポスターの版を印刷会社に作成していただいた。実際に印刷する時はネットプリントを使用する。理事会で承認済みであるため、版データを買上げることを印刷会社に連絡することとした。

- ・泰楽委員長より報告

5月11日に損害保険協会へ提出した「工賃単価（レバーレート）の交渉に対する通知」について返信が来た。損保協会として保険会社各社に指導はできない（独占禁止法抵触を懸念している）ため、本通知文は受け取れないとして返送するといった内容であった。今後は損保協会を通さずに保険会社各社と団体交渉をできるよう進めて行く。

また、SDGsに関して、全国中小企業団体中央会の支援事業に採択された。7月中に補助金交付の為の申請書を作成し、中央会へ提出する。交付が確定したら廃棄物チームおよび他の調査研究委員にも協力してもらおうことがあるので、進捗状況を適宜共有していく。

議題4 次回開催日の決定

○開催日時 令和5年9月13日（水）13:00～16:00

○開催場所 リモート（ZOOM）

以上のおり調査研究委員会の提出議案の全ての審議を終了し、大原副委員長の閉会宣言をもって16時00分に閉会した。